

牛伝染性リンパ腫（旧牛白血病）について

どんな病気??

- ・牛伝染性リンパ腫ウイルス感染により、白血球が腫瘍性に増殖し、全身のリンパ節や臓器等が腫瘍化する病気（届出伝染病）です。
- ・発症率は数%で、多くは無症状ですが、と畜場で見つかった場合は、全部廃棄となります。
- ・また、乳質や繁殖成績の低下を引き起こすことが報告されています。

❖治療方法はなく、抗体陽性牛は生涯ウイルスを持ち続けます

どうやって感染するの??

- ・アブやサシバエなどの吸血昆虫を介して！
- ・去勢、除角等の際の出血で！
- ・注射針や直検用手袋、耳標・鼻環装着器具の使いまわしにより！
- ・子宮内での胎子への感染や、分娩時の出血、初乳による子牛への感染！



❖感染牛の血液や乳汁を介して感染します

対策は??

清浄化には時間がかかります！
まずはできることから始めましょう！

- ・農場内の感染状況の把握
- ・出血を伴う場合等の器具の連続使用をしない・させない
- ・感染牛の分離飼育、粘着シートや防虫ネットによる吸血昆虫対策
- ・初乳対策、感染牛からの産子の早期離乳
- ・ハイリスク牛の優先的な更新・淘汰



対策による効果は??

- ・繁殖成績の向上への期待
- ・と畜場出荷や子牛出荷時のリスクの減少
- ・感染牛の病気になりやすいなどの「目に見えない」リスクの減少

❖経済的損失の回避

最上家畜保健衛生所
（休日・夜間も対応）

以上、ご不明な点はお問い合わせください

電話：0233-29-1357